

マレーシア旅行は主に 4 つのパートに分かれており、1 番目の部分のパートはマレーシアの法律とタブーです。1.薬の服用禁止。2.公共の場所での禁煙。3.飲酒してトラブルを起こすことはありません。4 他人の頭に触らないようにする。これらはマレーシアでは許可されていません。2 番目の部分ではその文化と魅力についてお話します。世界には約 18.5 億人のイスラム教徒がいると言われていています。イスラム教徒は中東に多いようなイメージがありますが、実際はムスリム人口の半数以上にあたる約 10 億人がアジアで暮らしています。世界最大のムスリム人口をもつインドネシアは人口の 9 割にあたる約 2 億 2 千万人がムスリムです。また、インドネシアやマレーシアをはじめとした ASEAN、インド、パキスタンなど、近年アジアにおけるムスリム人口の増加は著しく、東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年には全世界のうち 4 人に 1 人(約 20 億人)がムスリムになると推計されています。イード・アル・フィトルはマレーシアのイスラム教徒にとってのお祭りであり、イスラム教徒の生活に欠かせない日です。イスラム教はマレー文化において中心かつ支配的な位置を占めています。マレー語には、イスラム教の共通語であるアラビア語に由来する語彙が多数あります。ただし、マレー語には、ポルトガル語、中国語、オランダ語、サンスクリット語[9]、タミル語、英語、フランス語など、他の言語からの外来語も含まれています。イスラム教はマレー人の生活に深く根付いているため、マレー人はイスラム教と密接な関係があり、イスラム教の儀式もマレー文化の一部です。同時に、マレーシアには多くの有名な観光スポットがあります。ペトロナスツインタワー、バトゥ洞窟、サバ島これらはマレーシアで最も人気のある場所です。3 番目の部分はマレーシア料理についてです。ハラール食品とは、イスラム教(イスラム教)の戒律に従って食べることが許されている食品のことです。イスラム教には、何を食べてよいか、何を食べてはいけないかについて厳しい規則があります。豚肉は特に禁止されています。豚由来のすべての物質および豚と接触するすべての食品は禁止されています。イスラム教では豚は不浄なものとみなされ、人体に入ることが許されない。牛肉や羊肉などの他の肉も許可されていますが、イスラム教の教えに従って屠殺され、加工されなければなりません。この特別なお料理はラクサ - Laksa , ナシレマ (ナシ・レマツ) - Nasi Lemak, サテ - Satay です。最後の最も重要な部分はマレーシアからの訪日客数的です。約 10 年間にわたって検索を行ってきた結果、2013 年当初の訪問者数は 50 万人を超えていたことがわかりました。しかし、時間の経過とともに、その数は減少しました。訪問者はますます少なくなりました。疫病のせいもあるが、習慣によるところが大きいと思う。日本政府が訪日旅行を積極的に推進している中、私たちも積極的にイスラム諸国に赴き、イスラム諸国について学び、帰国後の食生活や習慣を整えるべきです。それが私たちがマレーシアンポップについて書く理由です。以上が講演内容でございます。ご清聴ありがとうございました。